



森ボラ 通信

第204号 2019年1月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com



新春のご挨拶

明るく楽しく前向きに



理事長 横山 清

謹賀新年、適温経済などと言われ期待の多かった昨年は、政治、経済、環境の各分野で将来の不安を予測させるような不測の事象が相次ぎ、適温どころか異常現象の一年間であったと思います。特に気象に関しては地球温暖化の影響の故か、想定外の災害が多発しました。

台風の被害は甚大であり、極めつけに北海道胆振中部地震が起き、森林を守る私達の役割は、更に重大な負荷を背負うこととなります。

一方に於いて、皆様の利他の精神が生み出すボランティア作業の実績は、我国の数ある団体の中でも高く評価される存在です。今年度は札幌市より環境保全の功勞により表彰を受けることに決定致しました。本当にご苦勞様でございました。唯一の反省は、人手も予算も足りない中で、模範的リーダーであられた和田功氏を失ったことです。誠に痛恨の至りであります。和田氏の遺志を受け継ぎ、協会活動を果敢に進めていきましょう。

異常現象は、自然を酷使してきた反動であるとの説があります。私達は地道に「自然の逆襲」を阻止しています。

今年も健康第一で、明るく楽しく猪突しましょう。

元旦

■ トピックス

◆ 『普通応急手当講習Ⅰ』の受講

12月12日(水)に冬季セミナーとして札幌エルプラザ環境研修室1、2を使って『普通応急手当講習Ⅰ』を、札幌市防災協会の派遣講師により会員18名が受講しました。下記に講習の概要を述べます。

今回の講習で強調されたのは、心停止かどうかの判断に自信が持てない場合でも直ちに胸骨圧迫を開始し、十分な強さとテンポで絶え間なく行うことです。

①救助者は心停止でなかった場合の危害を恐れずに、直ちに胸骨圧迫を開始。

②胸骨圧迫の部位は胸骨の下半分とし、胸が約5cm沈むように圧迫する。

③胸骨圧迫のリズムを1分間当たり100~120回のテンポで行う。

④人工呼吸は訓練を受け、技術を修得している場合とする。

などが改訂されました。胸骨が圧迫され意識がある場合は傷病者が嫌がって、手を払いのける行動を起こすので、ためらわずにすぐ行い、救急隊員が来るまで交代で行うことが強調されました。





また、幸にして心肺蘇生を行っている途中でAEDが届いた場合は、すぐに準備を始めますが、準備中でも交代しながら胸骨圧迫は継続する。AEDは電源が入ると音声メッセージと点滅ランプで実施することを指示してくれるので、落ち着いてそれに従う。AEDの使用手順を以下に述べます。

①AEDの到着と準備：AEDを傷病者の近くに置く⇒AEDの電源を入れる⇒電極パッドを貼る、濡れている場合は、タオル等でふき取る。

②心電図の解析：「体に触れないでください」などと音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まる。「ショックが不要です」のメッセージが流れてもAEDの電源は切らずに電極パッドも張ったまま、胸骨圧迫を再開。

③電気ショック：「ショックが必要です」などの音声流れ、充電が始まる⇒「ショックボタンを押してください」の音声流れます⇒「ショックを行います。皆さん離れて！」と呼びかける⇒誰も傷病者に触れていないことを確認⇒ショックボタンを押す。

④心肺蘇生の再開：電気ショックが完了すると「直ちに胸骨圧迫を開始してください」の音声メッセージに従う。中断を出来るだけ短くする。

⑤AEDの手順と心肺蘇生の繰り返し：心肺蘇生を再開して2分程経過すると、再び自動的に心電図の解析が始まる。その後は心電図解析⇒電気ショック⇒心肺蘇生を繰り返す。

⑥救急隊への引継ぎ：救急隊が到着したら指示があるまで心肺蘇生を継続して引き継ぐ⇒傷病者の状況、実施した救命処置などを伝える。

その他に止血、熱中症、やけどなどの処置について最新の方法を学びました。写真は参加者全員が交代で胸骨圧迫、AED操作の指導を受けている様子です。

会員は高齢化も進んでいることから、誰がいつこのような状況になるか分かりません。このような機会を通して常に廻りの人の状況を観察して、重大な事故につながらないようにお互いに心がけましょう。（文・事務局）

■ 活動報告

◆伐木等の業務に係る特別教育（大径木）受講

12月20、21日に北広島市大曲にある「コマツ教習所」でチェーンソーの大径木の特別教育を受講してきました。参加者31名で内女性3名、会社関係と思われる若い方が多かったです。

講習は1日目座学、2日目実習になっていて各日とも休憩除いて8時間となっていて全部で16時間になります。

1日目は、労働災害の状況、労働衛生安全法、伐木に関する知識、チェーンソーに関する知識、振動障害に関する知識を、テキストを元に説明を受け最後に簡単な試験があります。「いかに安全に木を切るか」を目的にしています。

2日目は、実際にチェーンソーを使った実習です。4台のチェーンソーを使って、2グループに分かれて行い、メーカーはハスクバーナ製とスチール製の2種類です。

1. 分解・組立

ブレーキの掛った状態から、ブレーキ解除・ガイドバー・チェーン取外し・ガイドバーとチェーンの取付け、チェーンの張り調整しブレーキを掛けるまでを一人ずつ順に2種類のチェーンソーに対して行います。

2. 組立、丸太切り、分解清掃

チェーンを外した状態から、組立・チェーン張り調整・エンジン始動・チェーンオイルが出るこ





試し切りを行い分解清掃します。

4. 試験

組立・チェーン張り調整・エンジン始動・チェーンオイル出力確認・分解
気の付いた点は、次の通りです。

・実習の中で、チェーンの張りが弱く玉切中にチェーンが外れたのが1件ありました。チェーンが変形したようで新しいチェーンに取替えました。組立の時にチェーンとカバーの取付けに苦労していることが多かったです。

・移動するとき、エンジンを掛けるとき、切り終わった後は、ブレーキを掛けた状態にします。(木を切るとき以外はブレーキを掛ける)

・チェーンの張り調整は、スプロケットの着いたガイドバーの場合 ガイドバーの先端を持ち上げた状態で下のチェーンとガイドバーの隙間が無くなれば完了します。(チェーンを引張って確認する必要なし)

・チェーンの目立てをするときはチェーンの油を除去してから行います。植物性のチェーンオイルは劣化しやすいので長期間使用しないときは抜いておく事。

必ずしも全て守る必要はないかもしれませんが、なぜそうする必要のあるのかを十分理解した上で行動することが肝要と思います。今後、研修で得たことを生かして安全第一で活動に取り組みたいと思います。森ボラのパンフレットを持って行って少しでも配ればよかったと思いました。

(文と写真・矢野)

◆観察会を通して

今年初めて澄川の森で桜を見ました。15年もこの森に通っているのに何という事でしょうか。5月の桜の開花時期がG・W期間で活動が計画されていない事が、桜を見るチャンスを失った原因でした。

今年エゾヤマザクラの開花予定日5月1日が観察日となり、その後の活動日でもカスミザクラを観察することができました。今までなんともしんしい森と思っていたのですが、それは私たちが見ていなかっただけで、森に対して申し訳ない思いです。

観察コースは里山ゾーンの避難小屋裏から山を登り、尾根沿いを南に向かい、しばらく歩いて小道を右手に降りるコースです。尾根から見る里山ゾーン一帯は、淡い桜色が帯のように連なり、山全体を染めているのです。初めての発見です。心が何かしらうきうきするような穏やかな思いになりました。



他の木々も変化し始め、春の準備を始めました。

6月、10月にも観察会を行い、春から夏へ、秋へそして冬へと一年間の変化をして行く山を見てきました。来年はもっと山全体を楽しみたいと思います。

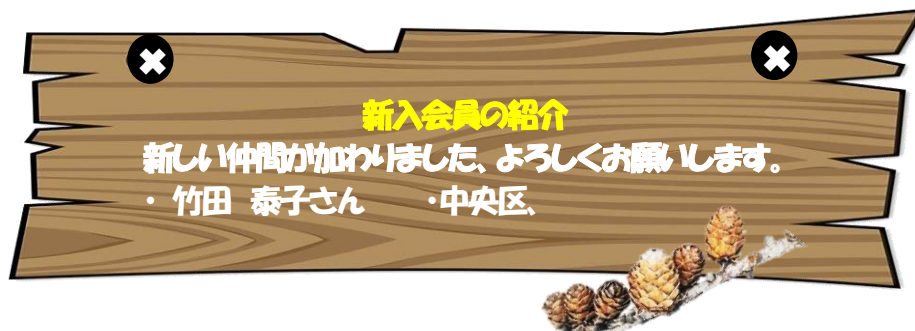


秋深くなってから里山ゾーンのE-3,4区の笹刈りを少ししました。桜を楽しめたので次の楽しみを味わいたいという気持ちがあり、出来ればエゾエンゴサクなどが咲いてくれればいいなあー、花畑用地です。南側の山全体にはマイズルソウ、ところどころにナニワズ、タチツボスミレ、ツクバネソウが咲いているので次はエゾエンゴサクなど願望です。(文・西野(澄))

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野(梯)・矢澤

1. 2019年を迎えて：酒井代表幹事
2. 2019年2月、3月スケジュール(2月幹事会2月8日)
3. 親子森林教室：新規、継続会員の動向
4. 森林・山村多面的機能発揮対策：次年度予算、活動場所の選定
5. 専門委員会報告：ホームページ表紙、助成先の検討、次年度予定の作成
6. 冬季セミナー(3月13日、札幌エルプラザ)
 - ・会員例会：『多面関係および各地の生長調査』樫棒
 - ・講演：『演題 未定』(株)アイビー 地質情報室 宮坂省吾さん
7. 現場対応：1/9『伐木安全講習(実技編)』、1/23 道庁木育担当大上主査来林予定
8. その他
 - ・樹液採取器具について
 - ・『札幌生物多様性フォーラム』発表(酒井代表幹事)、聴講6名、2/13 札幌市民交流プラザ
 - ・高額機材購入：チップパー、スキッドコーン、刈払い機、事務所PC、スノーシュー
 - ・消耗品購入：雨具、防寒着など
 - ・2018年12月会計報告及び年度末予想



■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
12月14日(金)	澄川	12	B-8、D-1,3区エゾヤマザクラ日照改善整理伐
12月16日(日)	澄川	9	上記整理伐を継続、マキ整理
12月18日(火)	澄川	14	上記整理伐を継続、機器整備、小屋清掃
12月20日(木)	澄川	17	小屋清掃、棚卸、散策(樹名板設置)
1月7日(月)	ラルズ生活研究C	12	幹事会
1月9日(水)	澄川	18	活動始め、除雪、『伐木安全講習(実技編)』
1月12日(土)	澄川	16	B-3区整理伐(手ノコ使用)、親子森林教室準備